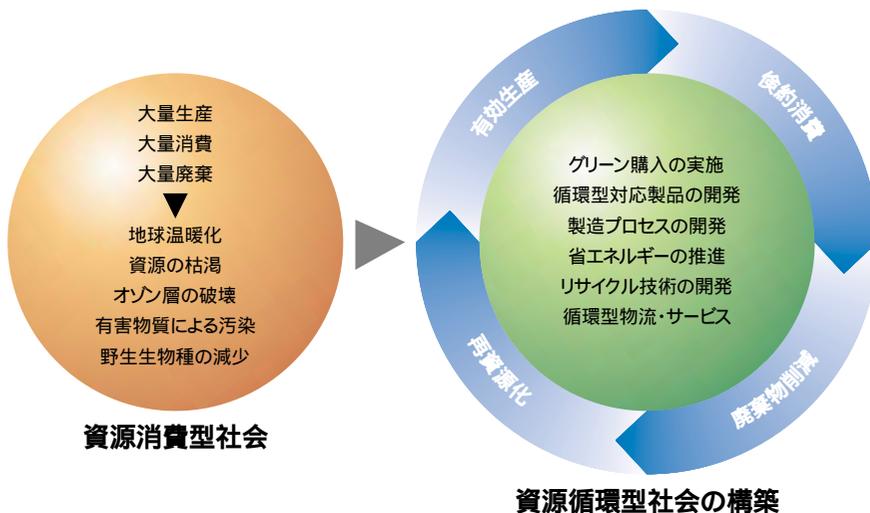


自主推進目標値とTDKの取り組み

08

自主推進目標値と進捗について

TDKでは1993年に「TDK環境ボランティアプラン」を策定し、環境に関する行動指針を定めました。これをより具体的な活動へと展開するため、自主推進目標値を掲げて個別課題に取り組んでいます。自主推進目標値については、推進課題の進捗状況や内外の情勢変化など必要に応じて見直しを行っています。2001年3月末現在の自主推進目標値に対する進捗状況は、下記の通りです。



TDKグループの自主推進目標値 と実績

推進課題	推進目標値
環境マネジメントシステム構築 (ISO14001に沿った環境マネジメントシステム構築を推進する)	・2001年3月までに海外工場の認証を取得する。 ・2001年3月までに本社およびサービス子会社の認証を取得する。
環境配慮型製品の開発	・製品アセスメントを新製品に関し100%実施する。 ・2001年3月までにはんだの鉛フリー対応を完了する。 ・製品への鉛使用を継続的に削減する。 ・環境負荷の定量的な把握の為、LCAを導入する。
地球温暖化防止	・2010年までに生産高CO ₂ 原単位(原油換算)を1990年度比25%以上向上させる。 ・PFC排出量を2010年までに1995年度比で80%削減する。
ゼロエミッションの推進	・3R(廃棄物の削減、再使用、再資源化)の積極的展開。 ・事業所から排出される廃棄物の廃棄を2004年3月までにゼロとする。 ・事業所から排出される廃棄物の総排出量を2004年3月までに、1994年度比10%削減する。
環境負荷物質使用の低減	・塩化メチレンを2001年3月までに全廃する。 ・化学物質の排出量を2005年までに1997年度比で20%削減する。
グリーン購入	・生産用、原材料部材のグリーン購入を推進する。 ・オフィス用グリーン購入を拡大する。 ・鉛フリー製品の積極的購入。
地域貢献	・地域のイベントへの参加(緑化運動、清掃活動)

自主推進目標値の改定は2000年12月

自主推進目標値の見直しについて

自主推進目標値について2000年度に見直した内容は、下記の通りです。

環境マネジメントシステム

海外のすべての生産拠点におけるISO14001認証取得が、目標だった2000年3月において未達でした。そのため、認証取得完了の目標を2001年3月としました。

環境配慮型製品の開発

製品アセスメントの海外実施、環境配慮型製品の認定制度の導入が完了したことから、製品アセスメントのレベルアップに関する新たな目標を設定しました。また、鉛フリーに関する推進課題の位置づけを見直しました。

地球温暖化防止

地球温暖化防止の観点から、省エネルギーに関する目標を原油換算からCO₂換算に見直しました。また、PFC排出量の削減目標を達成したことから、より高い目標へと見直しました。

ゼロエミッションの推進

TDKの新中期計画「Exiting108」との整合を図るため、ゼロエミッション達成の最終年度を2年前倒しとしました。また、3R(廃棄物の削減・再使用・再資源化)を積極的に推進することを明確にし、廃棄物の総排出量についても削減目標を定めました。

その他

新たに、グリーン購入、地域貢献に関する推進課題を設定しました。

2000年度実績	今後の取り組み	関連頁
<ul style="list-style-type: none"> ・2000年度は4事業所で認証取得しました。 ・本社の認証取得を完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの3製造事業所については、2001年12月までに認証を取得します。 ・サービス子会社3社については、2001年12月までに認証を取得します。 	<ul style="list-style-type: none"> 26 7
<ul style="list-style-type: none"> ・100%実施しました。 ・はんだの鉛フリー化に対する技術開発を完了しました。 ・一部素材で鉛フリー対応を完了しました。 ・LCA導入を決定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100%実施を継続いたします。 ・顧客への承認活動を実施していきます。 ・鉛フリー素材の開発を強化します。 ・LCA導入による定量的環境負荷の把握を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 12 13 13 12
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度比0.5%悪化し、1990年度比3.5%悪化となりました。 ・前年度比105.2%増で、1995年度比44.7%削減となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コージェネレーションシステムを導入します。風力発電の調査を行います。生産工程の効率化、空調の省エネルギーを促進します。 ・代替物質の切替を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 20 21
<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物を出さない、クローズドシステムの導入を実施しました。 ・廃棄物処理業者委託量を前年度比4,206トン削減し、13,562トンとなりました。 ・前年度比3.5%削減し、1994年度比5.6%削減しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クローズドシステムの横展開を図ることで、廃棄物の排出抑制を推進するとともに、止むを得ず排出される廃棄物の100%再資源化を進め、2004年3月までにゼロエミッションを達成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 17～19
<ul style="list-style-type: none"> ・6事業所で新たに全廃しましたが、9事業所では全廃できませんでした。(37事業所中28事業所で全廃) ・前年度比3.1%削減し、1997年度比9.0%削減しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2001年9月までに全廃する予定です。 ・塩化メチレンの全廃を中心に削減します。 	<ul style="list-style-type: none"> 23 23
<ul style="list-style-type: none"> ・主要取引先企業300社について調査を実施しました。 ・TDKグリーン購入ガイド(オフィス編)を作成しました。 ・取引先企業に対して鉛フリーはんだ対応部品納入要請を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規取引先企業の調査を継続して実施します。 ・オフィス用品のグリーン化を拡大します。 ・継続して鉛フリー製品の購入を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 16 16 16
<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所で緑化運動、清掃活動に参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所で積極的に参加を継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 29